（大正八年三月七日第三種郵便物認可）　昭和六年五月一日　THE IWAKIJIHO　（金曜日）　第五千百七十四號（一）

三十日刊

磐城時報

編輯兼發行人　岡田弘成
印刷　福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所　加納活版所　福島縣石城郡平町紺屋町十四
發行所　磐城時報社　一部金貳錢　一ケ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五拾錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

平商工會で 兩稅の輕減運動

營業不振の實狀を披瀝して 先づ陳情書提出

平町の商工業者は數年來の經濟的恐慌と中央大資本家の地方進出のため、近因としては平町商工業者と密接な關係を有する常磐各炭礦の事業不振等のため其の經濟的存立と基礎に不安と動搖を感するに至つたが近く昭和六年度の所得稅調査が行はるゝので平商工會では協議の結果左の如き陳情書を平稅務署並に仙臺稅務監督局に提出し所得稅輕減の運動を起す事になつた。

陳情書

（前略）

從來本町の盛衰と緊密不可離の牽聯を有し平町商工業の重要販路なる常磐各炭礦は茲數年來加速度的不振を續け其の急速なる沈衰の影響は當然平町商工業の上に反映し殊に磐城炭礦株式會社糧食部に對する本町商工業者より供給の物資代價約十數萬圓の回收不能に陷り今日尚其の整理解決を見ざるは關係當業者の致死的損失にして平町商工業全般に及ぼす間接的影響も亦甚大なり。曩に平町に於ては本店銀行相亞いで休業破綻し或は他行との合併を余儀なくせられ一般關係者の被りたる打擊損傷其の瘡痍未だ癒えず且多數商工業者は爾來殆んど金融の途を硬塞せられ取引澁滯の不便を痛感する折柄偶〻會有の恐慌に際會したるものにて金融資本の偉力漸く確立されんとする現時吾等平町商工業者の境遇は恰も身に寸鐵を帶びずして戰場に臨むに等しく自ら顧みて暗然たるものあり。

昨年初來空前の大不況に直面し本町商工業者は日夜苦心を重ね百方努力し以て營業經費の節減と販路の開拓に努め不況切拔の對策を講ずるも大勢の趨くところ又如何とも致し難く日を逐ふて業績不振を加へ今や販賣高並に營業收益激減し當業者は疲弊困窮の裡に沈淪するに至れり。

希くは本年度所得稅並に營業收益稅の課稅調査審議に際し貴官の御寬容と御賢察とを以て仁慈の御處置を賜らんことを奉懇願す

昭和六年四月二十七日

平商工會長　山崎清三

磐銀へ破産の宣告

債券者會は二十六日 銀行側で直ちに抗告

昭和三年五月突如休業を發表し時に破産を宣告された、なほ同平町磐城銀行ではその後頭取以下の重役を改選して鋭意單獨として平町辯護士永野柳造、漆畑元吉兩氏が選任され第一回債權者會その他左の如く決定した

一、第一回債券者集會五月二十六日

一、債權屆出期間六月三十日

一、債權調査會七月十四日

右につき銀行員は語る

「重役が留守のため確かな答へは出來ませんが、銀行側としては出來る限りの努力を拂つて單獨開業を望んでゐたのですから無論破産宣告には抗告する筈です、長らく預金者に迷惑をかけたことは申わけのないことですが、しかし一面において一般預金者の方々も銀行の苦衷をお察し下すつて一日も早く開業の運びをつけることに御助力下さいますことを地方財界のため切望したいのです」云々

高久の八幡神社境内で 娼妓二名自殺を計る

借金がぬけないのを 苦にして逃走

片倉製糸

平町鎌田町五色町遊廓萬歲樓事松水チウ方抱娼妓双葉郡上岡村大字本岡字清水今紫事遠藤キヨ（二三）、宮城縣鹽釜町三代花事佐藤むめよ（二五）の兩名は二十八日午後十一時頃突然姿を消し行衛不明となつたので平署に捜索方を願ひ出でたが、二十九日夕刻石城郡高久村八幡神社境内で縊死を計つてゐる女二名を附近の者が發見救助し事情を聞いて見ると萬歲樓娼妓と判明抱主に引渡した、平署で取調べた處今紫は强度のヒステリー症で兩名共借金がぬけないのを苦にして悲觀し自殺を覺悟し逃走したものであつた。

失戀の結果

四倉海岸に投身

漁夫に救助さる

平町字白銀町鐵工川部種吉養女川部ツキヨ（十八）は二十七日午後五時頃四倉町海岸で海中に投身自殺を計つたが通りかゝつた漁夫に發見救助された、原因は失戀の結果であると。

▲鹿島道路修理

石城郡鹿島村道路愛護組合では五月一日午前八時から組合員全部出動し村内の道路を修理する。

江名町で 豫防注射

石城郡江名町では四月上旬腸チブスが發生し現在五名を收容してゐるので去る二十五日町民及び小學校等約九百名に豫防注射をなした。

▲勿來助役決定

石城郡勿來助役は三十日横山太一氏に決定した。

回春園で 結核豫防標語

石城郡豐間村縣立回春園では去る二十七日結核豫防デー當日入院患者から標語を募集し優良なるものを左の如く選定した。

▲過勞

一、結核の身元たゞせば過勞から

一、無理重なれば發病のもと

一、身心の疲勞の隙に病入る

一、結核の苗圃は無理と知れ

一、過勞より結核へは世界一流のランナーより速し

▲休養

一、程よい休養健康のもと

一、流せよ大汗取れよ安眠

一、よく働いてよく眠れ

一、早寢早起に優る休養なし

▲新鮮なる空氣

一、目に見えぬ埃案外人殺し

一、先づ第一に新鮮な空氣

一、新鮮なる空氣に處に肺病なし

一、外氣を愛せよ

一、暇を見付けて山登り

▲營養

一、カロリー食より嗜好食

一、滋養品より好きな物

一、美味しく食べれば何でも藥

一、口に合ふもの皆營養

一、安く美味しく營養本位

▲早期治療

一、結核の早苗取り捨てよ、根張らぬ內に

一、早くはめよ火事と結核

一、初期の一ケ月放つておけば治療に一年

一、まあ〳〵と言つてゐるうちに床につき

一、早期治療長生の基

電氣工が 感電重傷

石城郡神谷村大字中神谷居住平町大工町東部電力株式會社電工一時頃石城郡內鄉村大字小島地內電柱で作業中高壓線に觸れ感電大火傷を負ひ生名危篤である

八分配當

平町月見町磐城片倉製糸株式會社では三十日午後一時より株主總會を開くが、株主配當金は八分、養蠶組合への配當六千圓、從業員配當二千圓である。

神谷農試場 農事傳習日割

石城郡神谷村農事試驗分場では左の日割により昭和六年度特別農事講習會を開催する。

▲五月二日稻作肥料の配合と肥法（菊地技手）

▲六月一日夏作蔬菜の管理（矢ヶ崎技手）

▲六月三十日蔬菜病虫害の防除法（伊藤技師）

▲七月二十九日秋蒔蔬菜栽培法菜種の栽培法（矢ヶ崎技手川上技師）

▲八月二十八日麥作の改良と水田裏作法（高根技師）

▲九月二十六日稻の收穫調査製產米の改良（本橋技師）

▲十月二十五日水田裏作蔬菜栽培法（矢ヶ崎技手）

▲十一月二十四日果樹の仕方（稻田技師）

▲十二月二十三日蔬菜の促成栽培法（矢ヶ崎技手）

▲一月二十三日改良堆肥の作り方と其原理（辻技師）

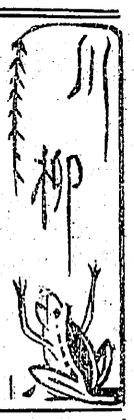
▲二月二十日溫室の經營法農具の經濟的利用（小鳥助手、加藤技手）

▲三月二十一日苗代の作り方と本田管理（丁技師）

不埒な米商

詐欺で告訴さる

石城郡泉村大字泉一八二番地米穀商芳賀內吉は本年一月中內鄉村大字宮字臺草野金四郎に白米十九圓分を貸してゐた處一月十五日內鄉村地內で兩名が逢つたので內吉は金四郎に十九圓を催促したが金四郎は現金を持ち合せてゐなかつたため自宅に妻せんが居るから貰つて行くやうにと言つた處內吉はそれを奇貨としせんから五十圓を受取り三十一圓を詐取したので平署に告訴された。



川柳

（十二）　寺井尺一選

『井』

鰻丼を押頂いて母は喰べ　東天紅
子の殘り手傳つてやる親子丼　あきら
丼がそつくりしてる呑める口　雅山
丼がまだ届かない借電話　新平　秀逸
丼が届いて汽車に乘り後れ　軸平

『的』

的屋今日飲むことにする雨となり　新平
目的もなく出た我を月が知る　雅山
金的のまわりへ葬と矢がさゝり　同人
子を連れた同志射的へ錢が減り　新平
目的があつて二男の自暴自棄　東天紅
中折と素的落花の船の中　雅山　秀逸
目的にまだ程遠い貯金帳　東天紅　軸吟
自發的直な署長にして歸し
動的と靜的酒の量が入り　劍珍坊

『罰金』　飯沼鬼一郎選

内濟が罰金よりも高くつき　文狂
罰金に指輪をねたる長火鉢　句樂
罰金に奢んなさいと久し振り　一角
罰金で濟みさうもない高手小手　文狂
罰金を出す氣巡査に敗けて居ず　壓巻
金で濟む事盜電の五十燭　陽醉
罰金の高がすくない儲け樣　鬼一郎

最上醬油

品質保証

正

九升樽詰　一本　四、二〇
二リットル入瓶詰　一本　、六二
正味一升一合
（空瓶ハ一本入錢ヨリ引取イタシマス）

景品　至誠堂石鹸三ケ入一函
ライオン洗濯石鹸一個

醸造高六萬石、全國第三位

特約店　永山酒店
平町田町【電二〇七番】

盬豚販賣
田町三二三屋

胃腸　内科　専門　十二指腸虫病　淋巴病　婦人病　皮膚病
梅毒　専門
松村醫院　平町南町（電話一〇七）　胃腸病　性病科

次週公開　處女爪占師
ヒル　土・日曜　マキノ直營　有聲座
日活マキノ超特作　断然群書壓倒の大公開
マキノプロダクション超特作　また大名篇
谷崎十郎・マキノ智子・泉清子
新見映郎・若松文男・大共演
マキノ特作現代劇　男性的スポーツ劇
大學の鐵腕兒
東郷久義主演　オールスターキャスト
新興帝キネ超々特作
時代劇　若き日の光圀　全
市川玉太郎・片岡童十郎・望月禮子
井日ヨリ特別大公開

一日藥價僅か五錢の治療
自宅安價・簡便・卓越の効・秘密
四つ揃つた理想藥です

◎こんな徴候の人々は一時も早く治療すべきです
●血帶下、赤帶下、コシケ多き人●下腹痛く筋張りつる人●子宮冷込、腰脚の冷え又は痺れる人●月經不順又は月經時に腹の痛む人●神經衰弱、ヒステリーの人●月經の前後に白粘つたこしけが下る人●子宮痲毒尿意頻數の人●子宮痒く糜爛出血する人●陰部臭かゆき人●逆上頭痛、耳鳴、眩暈する人●肩が凝又は背が痛む人●流産早産する人

定價　一週分・四〇　二週分・八〇
五週分一・八〇　十週分三・五〇

代理店　平町五丁目角　山野邊藥局

専門　科學　X光線科　門
病室完備　平町南町
上田外科醫院　電話一二九番
内科小兒科　外科花柳病科
耳鼻咽喉科　レントゲン科
入院應需　高久忠　赤羽清　佐竹菊雄

池龍生派　坊
免許狀授與

今般石城郡平町六丁目華部敎授正木旭松門弟常ニ華道熱心ニシテ日夜勉勵成績優良ナルヲ以テ玆ニ昭和六年四月十九日東京家元ニ於テ春季立華生花大會合格ノ上左ノ人名ハ免許狀授與セラル

敎員免許狀
同　平　佐藤　正木　ヒサ子
同　植田　佐藤　ミキ
皆　植田　柴　ハツヨ
同　平　佐藤　ナツヨ
同　植田　渡邊　ツヨシ
中　平　二階堂　マリコ
初　植田　廣田　ヨシゲ
同　平　滿山　リンコ
同　平　吉野　サノ
同　鹿島　佐藤　ミナコ
同　植田　木村　ミサヨ
同　植田　馬上　モトコ
同　植田　古川　トシ
同　植田　櫻田　トヨ

吉田眼科病院
平町紺屋町
電話六八番

専門　内科一般
内科ハ何デモ診療致マス
呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五改（電話一八一番）
川井内科診療所
醫學士　川井重之
女醫　川井安子

貸切は
セダン揃ヒデ
乘心地ノヨイ
皆樣ノ昭和タクシーへ
電話三四三（サシミ）番